

同 宮壽 泰樹 (陸自78)
 同 大塚 正征 (陸自79)
 同 竹内 昭彦 (空自医80)
 同 古原 康孝 (陸自81)
 同 小林 博史 (陸自82)
 同 田原 計 (陸自82)
 同 西脇 正入 (陸自医83)
 同 本田幸之助 (陸自87)
 同 内山 恵子 (陸自89)
 同 橋本 一雄 (陸自89)
 同 坂下 強志 (陸自90)
 同 坂野 勝 (陸自90)
 同 磯田 健一 (賛助会員)
 同 田村 正夫 (陸自60)
 同 樋口 太 (陸幼48)

振武台連絡会(陸軍士官学校)
 57期〜61期の会 役員紹介

振武台連絡会副代表兼事務局長
 小林 武一 陸自64

振武台連絡会では、平成30年6月6日付で、新規に役員を選任を行いました。が、本年度に入って一部改変を致しましたので、改めて全役員を紹介させていただきます。また、本年3月30日(土)に朝霞駐屯地に於いて合同観校会を開催致しましたのでその概要をお知らせします。

○ 役員紹介
 代表 柳澤 壽昭 (陸自69)

同	副代表	大浦 誠哉 (陸自60)
同	同	今井 明 (陸自63)
同	副代表兼事務局長	小林 武一 (陸自64)
同	特別相談役	深山 明敏 (陸自57)
同	同	宮澤 洋夫 (陸自60)
同	同	齊藤 信 (陸自61)
同	相談役	野口 清秀 (陸自57)
同	同	日高 誠 (陸自58)
同	同	牧内 節男 (陸自59)
同	同	森 繁弘 (陸自60)
同	同	鈴木 芳雄 (陸自60)
同	同	田中 正和 (陸自60)
同	同	川島 順 (陸自60)
同	同	小倉 健男 (陸自61)
同	同	若木 利博 (陸自66)
同	同	山越 孝雄 (陸自75)
同	同	小山内昭三 (陸自60)
同	同	福島 孝夫 (陸自60)
同	同	三浦 天士 (陸自61)
同	同	藤巻富久夫 (陸自67)
同	同	水口 勇 (陸自68)
同	同	西村 繁樹 (陸自69)
同	同	竹下 泰義 (陸自70)
同	同	柳澤 孝興 (陸自71)
同	同	中村 幹生 (陸自73)
同	同	山崎美千代 (陸自74)
同	同	黒澤 利光 (陸自76)
同	同	田村 正夫 (陸自60)
同	同	樋口 太 (陸幼48)

○ 振武台合同観校会について

平成31年3月30日(土)、桜花爛漫の下、朝霞駐屯地に於いて、振武台連絡会、埼玉偕行会、埼玉60期生会合同観校会を開催した。11時30分、常務理事竹下泰義氏(陸自70)の司会で国歌斉唱、黙祷、来賓紹介の後、振武台連絡会代表柳澤壽昭氏(陸自69)の挨拶、続いて公益財団法人偕行社会長志摩篤氏から来賓祝辞を頂いた。続いて陸士60期生会代表鈴木芳雄氏(陸自60)の乾杯の音頭で懇談に入った。更に他の会と掛け持ちの為、一時間ほど遅れて来られた東部方面総監陸将高田克樹氏と幕僚長兼朝霞駐屯地司令陸将補中野義久氏から「祝辞を頂いた。この間、恒例の方面総監部両幕僚副長はじめ全部課長等23名に2個グループに分かれて参加して頂き、それぞれ30分程懇談をした。自衛隊現役と元陸軍関係者ひいては元自との良き交流の場となっている。

軍歌・校歌等で更に盛り上がったが埼玉60期生会代表小山内昭三氏(陸自60)の閉会の辞をもって14時無事終了した。

静岡県偕行会総会について

静岡県偕行会
 事務局長 小長谷 聡

静岡県偕行会は、5月25日(土)の9時40分から14時まで、御殿場市民交流センター「ふじぎくら」において、令和元

年度総会及び時局講演会を実施した。

総会は、国際活動教育隊長 佐藤和之1佐をはじめ、和田篤夫真議・勝俣昇真議・高田知県防衛協会副会長様等多数の来賓をお迎えして、開会した。国家斉唱、物故者に黙祷に続いて会長から、本年度の重点として「①慰霊顕彰への積極的多数参加、②防衛協力諸団体との連携の強化、③県民・市民の防衛意識の普及向上、④会員の高齢化・引退による減少に備えての新会員の増勢」を図ることが示された。また、議事に先立って、偕行社副理事長熊谷猛様から、会勢の充実と会の事業の魅力化に引き続き取り組んで欲しい旨の要望と共に、偕行社の現況と将来像についてお話があった。会員一同地方偕行会と我々の拠り所である偕行社との繋がりを改めて実感した次第である。

本年は、平成25年8月「新静岡県偕行会」として、県内の東・中・西部各偕行会(従前会員)と自衛隊幹部OBが大同団結して設立し、会長を鈴木震也(陸自57期)副会長を阿部順治(陸自57期)に選んで発足。翌26年4月会長を阿部順治にバトンタッチして5周年経過したことから、5年間の活動実績を大西徹彦(陸自64期)参加から発表があった。

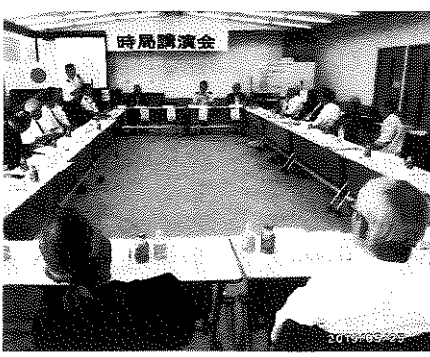
活動歴の中で、26年度の静岡県自衛隊殉職隊員追悼式から、静岡県偕行会も追悼式の共衛団体に連なり、国会議員・首長・自衛隊各部隊長・各団体代表者と共

に参列借行会会員全員も一人ずつ献花する慣例が出来上がった。また、三島大社境内に戦没者を祭っている伊豆魂神社の慰霊顕彰行事に参列する等の経緯の説明があった。

引き続き、国際活動教育隊長佐藤一佐による「海外派遣の現状と派遣隊長の決意等について」講話が行われた。

若林御殿場市長はじめ、部隊長、協力会員等多数の聴講者の参集を頂いた。

なお、翌26日板妻駐屯地の記念行事の会食の席で挨拶に立った若林市長様が、「昨日借行会の催した時局講演会で『海外派遣について』を聴講したが、非常に有意義であった」との感想をわざわざ述べられるなど、今年も時局講演会は、成功裡に終わった。その後の座談会は、予定時間を超えて激論して14時に散会した。



座談会による意見交換

千葉借行会 第五次憲法試案について

借行会会員の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当方千葉借行会に、文化活動の一部門として憲法研究会がございます。平成20年4月に会長以下10名で立ち上げ、自主憲法を策定すべく、隔月ごとに午後の半日を費やし勉強会を重ねて参りました。その結果、9年半の日月を経て第五次憲法試案を纏め上げることが出来ました。その内容は、自民党の日本国憲法改正草案に比して何ら遜色なきものと自負致しております。

そこで、折角の成果を借行会会員の皆様方にご披露申し上げたく、『借行誌』誌上ご紹介申し上げる次第です。

若しご希望の折は左記の事務局に、葉書若しくはFAXにてお申し込み下さいれば無料にてお送り申し上げます。又、お取り寄せ頂きました折には、ご意見、ご批判など賜りますならば洵に有り難く存じます。

終わりに臨み、皆様方の益々のご健勝を祈念申し上げます。

千葉借行会 会長 上甲 敏男
申し込み先

260001 千葉市中央区都町2-17-13

事務局 増田 忠彦

Tel・fax 043-231-8400

北海道借行会 「みたま祭」のこと

札幌護国神社「彰徳苑」に建立された各戦域等慰霊碑の合同慰霊祭「みたま祭」(6月1日)に、ご遺族や主催団体関係者などと共に当会会員14名も昇殿参拝し、その後、昼食・談話の会を催した。

18普連長・渡邊一佐も昨年同様に参拝しておられ、旅団・駐屯地の記念日行事を後にひかえたお忙しい身ながらご参加いただいた。連隊長の言によれば、連隊が対処した昨年9月の胆振いぶり東部地震の災害派遣は、普段の「山菜とり遭難者」の人命救助などは規模の違う行動だったので、いろいろな面で大きな教訓を得ることができたとのこと。

会員も恒例により1人1話。陸士出身のお二人は61期、小森先輩は「東京大空襲(昭和20年3月10日)の朝、駐屯地に白いものが降ると思ったら大火災の降灰だった」などの思い出とともに「最後の将校生徒も90歳になったが今後も若い方(笑)との交流で元気をもらおう」と。松尾先輩は「専守防衛は政治用語にすぎず、列島国家の戦略論は未成立」であるとし、その論考「堅守防衛論」(参加者に配布)の要点を、「深層トンネルを中心とする陣地準備、領海防衛は陸軍(陸水隊)が担当しロボットを活用」などと話された。白井会員は「北海道の駐屯地配置を考察

してゆくと、港湾防備を重視した幕末の海防思想が分かる」などと興味ある見解を披露。

談話会の後、陸自OBの所感として「陸士の先輩方の意気と愛国心に感ずる所あり」「旧軍の方々には戦後、サイレントマジオリティとして左翼の人にも一目置かれた。我々は、どう見られるのか?」等が寄せられ、大先輩との交流の意義が改めて認識された。

出席者 土61小森吉夫・松尾義孝、陸自60大須賀浩、61赤羽根清光、66碓氷吉彦、71遠田雅美、73大野金三郎・細島邦夫、75齋藤修二・同夫人・須藤和房、77白井純夫、04北田勝二、65木村清順記。追記 北海道護国神社の「慰霊大祭」(6月5日)には、旭川在住の陸自71樫村天臣会員が会を代表して参拝した。なお樫村会員は道銃剣道連盟会長として奉納試合も実施した。

岩手借行会

盛岡高等農林の史跡研修

6月3日(月) 好天の午前。岩手借行会会長他役員10名は郷土の歴史研修として、岩手大学内にある盛岡高等農林の史跡を訪ねました。富国強兵に役立つよう、早く成長し硬く大きな適材を得るため諸外国から取り寄せたくるみ・松・杉などの樹木は、100年を超えて巨木となり、元侍屋敷のヒバや杉とともに東京

ドーム1個分の面積の植物園を形成しています。盛岡高等農林の本館は重要文化財の建物として、岩手大学の教育資料館と名称を変え、冷害克服のための歴代学校長・教授の研究成果、宮沢賢治の酸性土壌改良のための土質・地質調査研究の展示コーナー、鳥獣の剥製教材コーナーなど貴重な資料展示館となっていました。

また、往時の図書館は岩手大学研究成果の上空1万2千mからの光学データ使用のリモートセンシングや軽くて複雑な形状の自動車のエンジンに使われる強靱・耐振動の鋳鉄の完成などを展示したミュージアム本館として活用されています。花の盛りは過ぎつつの植物園を約2時間にわたり新鮮な空気を吸いながら



散策し(写真)、江戸時代の侍屋敷の痕跡そして明治35年創立の盛岡高等農林から現在の岩手大学へと流れ来た歴史を実感できました。その後、学生食堂でお昼の会食をいただき会話も弾み、会員相互の親睦を図ることもできました。

神奈川県偕行会総会

○総会

6月8日(土) かながわ労働プラザ・味彩で開催しました。

国歌斉唱、黙祷後に、鶴田俊秀会長挨拶、続いて富澤暉偕行社相談役からお言葉をいただきました。

会長を議長にして、30年度事業報告、決算報告、監査報告、令和元年度事業計画、予算計画を討議し、原案通り可決されました。

○講演会

河添恵子氏(ノンフィクション作家)に「米中新冷戦時代と日本のこれから」を話していただきました。

中国政権の崩壊を狙うトランプのリベンジ秘策とこれに対応すべき日本の施策について、インテリジェンス面からディープに掘り下げた理路整然とした内容の講演でした。

○懇親会

今年度も、軍歌演習を盛り上げるため、「雄叫」の尾崎良江女史に伴奏をお願いしました。その効果で、大変盛り上がり、

14時終了のところ、14時30分まで延長し、解散となりました。

講師の河添恵子氏も、最後まで歓談の輪に加わってくれました。

○来賓者

偕行社相談役・富澤暉氏の他、埼玉偕行会会長・柳澤壽昭氏(自69)、賛助会員・橋本百合博氏(元日本航空機長・偕行合唱団員)が参加してくれました。

所用で参加していただけなかった偕行社・森勉理事長、東部方面混成団長・石丸威司一等陸佐からは、祝電を頂戴いたしました。

○参加会員

士60小澤義秀・小林實・小山満之助
士61尾山喜一・原田太郎・廣島昭三・藤川忠重、広幼49日野潤一、大幼49松本光雄、自54島津隆好、自60大久保浩・椎原晩聲、自61高木幸夫・横山功、自66村松洋一、自68近藤忠助、自69篠田芳明・鶴田俊秀・正本禎亮・吉川佐賢、自73藤原道明、自78森本一夫、自82澤木優輔の各氏

自61近藤一郎、自69木村克己の各氏から、金一封をいただきました。

(事務局長 正本禎亮)